

## 第 38 回名古屋高速道路公社料金問題調査会

### 議 事 概 要

【日 時】 令和 2 年 2 月 10 日（月）10:00～12:00

【出席委員】 奥野会長、山本会長代理、内田委員、小川委員、佐藤委員、藤田委員、松浦委員、大場委員、河野委員

#### 【議 題】

「名古屋高速道路の料金見直しについて」

#### 【議事概要】

- 事務局より、説明資料に従って説明し、ご意見を伺った。
- 基本的に国の『具体方針(案)』の内容を、名古屋高速道路の新たな料金に係る具体案とし、パブリックコメントにより広く一般の方々からの意見を伺うことについて了解された。

#### 【主な意見】

##### [料金体系に関する意見]

- ・今回、料金が NEXCO と一元化されるという方向性は、名古屋のまちづくりに大きな影響を与えることであり、非常に意義がある。
- ・都心部の短距離利用が増え、一般道の混雑緩和が図られる点はよい。
- ・都心環状の割引など、利用しやすく、賢く使うための配慮がされていると思う。
- ・人手不足対策として声を上げられていた通勤割引が導入されないのは残念。
- ・「公平な料金」ということが利用者にもよく分かる説明が重要。
- ・料金設定の考え方「全体としてより公平な料金を目指す」に対し、誤解を生じない説明が必要。（割引の恩恵を受けていた利用者に不利益が生じるとも受け取られかねない）
- ・値上がりとなる利用者に対して、サービスや使いやすさ等で公平性を確保しているというような説明が必要。
- ・都心環状線を通ったときの営業距離の考え方を示した方がよい。
- ・料金改定後の都心部出入口付近への交通影響について検証が必要。
- ・戦略的な料金を行う場合は他会社との連携をしっかりとるように。

#### [広報・情報提供に関する意見]

- ・ウェブ料金検索やマスコミ活用等により、事前の広報・周知に努めることが重要。
- ・消費者の立場として、新しい料金がどうなるか、ETC がなぜ必要なのか、各種媒体での周知に努めてほしい。
- ・情報提供について、外国人にもわかりやすいオールジャパンでの対応が必要。
- ・情報板で事故等の情報が出るがその情報を見たときにはもう引き返せないため、入口に入る手前で情報提供されたい。
- ・カーナビで、料金を含めた経路選択ができるような情報提供が重要。

#### [その他意見]

- ・現金車は料金負担が大きくなると思われるので、事前周知に努められたい。
- ・現金車への周知徹底とあわせて、具体的な対応を明確にしてほしい。
- ・現金利用者への対策として、ETC 車載器の助成だけではなく、既存の ETC パーソナルカードの周知など、その特性をよく分析し、きめ細やかで十分な対策を行うことが必要。
- ・名駅や栄周辺の整備をしっかりと行い、利便性向上に努められたい。

以 上